



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社中央製作所

上場取引所 名

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 服部 光生

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,916		16		17		8	
2023年3月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	10.90	
2023年3月期第2四半期		

(注)当社は2023年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、2023年3月期第4四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年3月期第2四半期	4,864		1,985		40.8
2023年3月期	4,306		1,950		45.3

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 1,985百万円 2023年3月期 1,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	28.0	65		65		30		38.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	784,300 株	2023年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	11,565 株	2023年3月期	11,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	772,827 株	2023年3月期2Q	773,154 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2023年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、連結対象の子会社がなくなったため、2023年3月期第4四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、前年同四半期との比較は行っておりません。

当第2四半期累計期間における我が国経済は、コロナ禍の行動制限の緩和による個人消費の回復や、供給制約の緩和による輸出や生産の増加により経済の回復が進みました。一方でエネルギーコストの高止まり、円安進行による輸入物品の価格上昇により、企業物価・消費者物価ともに上昇いたしました。

当社を取り巻く環境は、国内経済の回復が進む中で、受注増加の兆しが見えるものの、銅材や鋼材、エネルギーコストの高止まりに加え、サプライチェーンの混乱は終息しつつあるものの、半導体など部材の一部については長納期が十分に改善されない状況が見られました。

このような状況の中で、当社は生産面において部材調達に注力するなどして製品納期の厳守に努めるとともにコスト管理の強化を図ってまいりました。販売面では、当社製品の需要が多い市場を中心に新規・更新需要の掘り起こしを行い、受注の確保に努めてまいりました。その結果、当第2四半期累計期間の受注高は3,139百万円、売上高は1,916百万円となりました。損益については、営業利益16百万円、経常利益17百万円、四半期純利益8百万円の計上となりました。

今後は人手不足や人件費上昇を背景として、生産性改善に向けた省人化投資が見込まれるほか、デジタル化投資、カーボンニュートラルの実現に向けた設備更新、カントリーリスクを回避する製造業の国内回帰など、国内製造業の設備投資は回復基調にあると判断しております。こうしたニーズに対する的確な提案営業を行い、受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、電池業界、自動車関連業界ならびに電子部品業界などを中心に、様々なニーズにお応えすることにより受注確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は819百万円、売上高は512百万円となりました。

今後につきましては、カーボンニュートラルの実現に寄与する高効率電源などの製品の更なる改良を進めるとともに小型電源の拡販に力を入れ、受注・売上の確保に努めてまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、電子部品業界などを中心に、新規・更新需要および既存装置の改修需要の掘り起こしに注力してまいりました。その結果、受注高は1,883百万円、売上高は830百万円となりました。

今後につきましては、引き続き新規・更新提案・IoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M(当社製品名)の提案および既存装置の改修提案により、受注・売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、自動車関連業界、鋼製家具業界などを中心に、新規・更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。その結果、受注高は294百万円、売上高は331百万円となりました。

今後につきましては、製品のモデルチェンジを積極的に進めるとともに、社内溶接実験設備の積極活用を継続し、様々なニーズにお応えすることで受注・売上の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて14.3%増加し3,870百万円となりました。これは、主として電子記録債権が197百万円、仕掛品が134百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて7.9%増加し993百万円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて13.0%増加し4,864百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて27.5%増加し2,431百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が287百万円減少したものの、電子記録債務が513百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて0.2%減少し446百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて22.2%増加し2,878百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1.8%増加し1,985百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました業績予想値に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,129,060	1,146,529
受取手形及び売掛金	829,326	894,869
電子記録債権	338,036	535,296
商品及び製品	99,818	171,276
仕掛品	739,745	874,696
原材料及び貯蔵品	171,908	188,357
その他	78,522	60,195
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	3,386,118	3,870,921
固定資産		
有形固定資産	283,244	289,085
無形固定資産	55,429	47,035
投資その他の資産		
その他	582,759	658,190
貸倒引当金	△935	△811
投資その他の資産合計	581,823	657,379
固定資産合計	920,498	993,500
資産合計	4,306,616	4,864,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	629,173	341,962
電子記録債務	-	513,099
短期借入金	740,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	40,000	-
未払法人税等	6,152	8,046
契約負債	284,650	543,253
その他	208,110	285,525
流動負債合計	1,908,086	2,431,887
固定負債		
退職給付引当金	238,604	216,359
その他	208,950	230,232
固定負債合計	447,554	446,591
負債合計	2,355,641	2,878,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,100,646	1,109,071
自己株式	△16,881	△17,025
株主資本合計	1,812,350	1,820,631
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	138,624	165,311
評価・換算差額等合計	138,624	165,311
純資産合計	1,950,975	1,985,943
負債純資産合計	4,306,616	4,864,422

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,916,978
売上原価	1,493,627
売上総利益	423,350
販売費及び一般管理費	406,849
営業利益	16,500
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	2,991
その他	1,645
営業外収益合計	4,638
営業外費用	
支払利息	3,067
為替差損	258
その他	2
営業外費用合計	3,327
経常利益	17,812
特別利益	
固定資産売却益	3,799
特別利益合計	3,799
特別損失	
固定資産処分損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純利益	21,611
法人税、住民税及び事業税	939
法人税等調整額	12,248
法人税等合計	13,187
四半期純利益	8,424

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	21,611
減価償却費	21,843
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△124
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22,244
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△40,021
受取利息及び受取配当金	△2,993
支払利息	3,067
固定資産処分損益 (△は益)	△3,799
売上債権の増減額 (△は増加)	△262,803
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△222,857
仕入債務の増減額 (△は減少)	225,888
契約負債の増減額 (△は減少)	258,493
その他	95,034
小計	71,095
利息及び配当金の受取額	2,993
利息の支払額	△3,084
法人税等の支払額	△1,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△15,550
有形固定資産の売却による収入	4,363
投資有価証券の取得による支出	△146
その他	△173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△40,000
その他	△149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,468
現金及び現金同等物の期首残高	979,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	996,529

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、2023年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、連結対象の子会社がなくなったため、2023年3月期第4四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(1) 生産実績

当第2四半期累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
電源機器	840,097	—
表面処理装置	843,259	—
電気溶接機	339,024	—
その他	210,935	—
合計	2,233,315	—

(注) 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当第2四半期累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
電源機器	819,785	—	1,249,110	—
表面処理装置	1,883,981	—	1,998,024	—
電気溶接機	294,059	—	119,741	—
その他	141,406	—	215,719	—
合計	3,139,233	—	3,582,595	—

(3) 販売実績

当第2四半期累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
電源機器	512,359	—
表面処理装置	830,683	—
電気溶接機	331,311	—
その他	242,624	—
合計	1,916,978	—